

# 環境負荷低減への取り組み

## ● 水資源への取り組み

### ■ 取水量・排水量の管理

当社は、限りある水資源の保全・有効活用は重要な課題という考えのもと、拠点ごとに水使用量削減目標を掲げ、積極的な水利用の削減に取り組んでおり、以下2つの中長期目標を新たに策定しました。

- 2032年度までに、グループの取水量を2022年度比で25%減
- 取水量原単位の低下

水質管理に関しては、佐賀工場では排水を微生物処理後、ろ過(物理的処理)とpH調整(化学的処理)を行い、水質基準に問題がないことを確認してから外部に排出しています。外部機関による検査を定期的を受け、排水の質を常に基準以下に抑えています。2022年度には、抄紙ラインでの水リサイクル率向上を促すため、新たに排水処理設備を導入しました。それまでは排水のリサイクル率は約50%前後を推移していましたが、導入後は100%となりました。

### ● 取水量(取水源別) (単位: m<sup>3</sup>)

| 取水源                           | 範囲 | 2019年度       | 2020年度        | 2021年度        | 2022年度        |
|-------------------------------|----|--------------|---------------|---------------|---------------|
| 上水                            | 国内 | 8,788        | 15,786        | 14,270        | 14,461        |
|                               | 海外 | —            | 10,453        | 15,833        | 9,312         |
| 工業用水                          | 国内 | 0            | 0             | 0             | 0             |
|                               | 海外 | —            | 0             | 312           | 5,764         |
| その他(地下水、河川水、雨水)               | 国内 | 0            | 0             | 0             | 0             |
|                               | 海外 | —            | 0             | 0             | 0             |
| <b>グループ</b>                   |    | <b>8,788</b> | <b>26,239</b> | <b>30,415</b> | <b>29,537</b> |
| <b>原単位(m<sup>3</sup>/百万円)</b> |    | <b>0.69</b>  | <b>1.80</b>   | <b>1.62</b>   | <b>1.59</b>   |

### ● 排水量(排出先別) (単位: m<sup>3</sup>)

| 排水先         | 範囲 | 2019年度       | 2020年度        | 2021年度        | 2022年度        |
|-------------|----|--------------|---------------|---------------|---------------|
| 下水          | 国内 | 5,158        | 10,951        | 8,315         | 7,163         |
|             | 海外 | —            | 10,453        | 16,145        | 15,076        |
| 排水処理施設*     | 国内 | 3,630        | 4,835         | 5,955         | 7,298         |
|             | 海外 | —            | 0             | 0             | 0             |
| その他(河川、海)   | 国内 | 0            | 0             | 0             | 0             |
|             | 海外 | —            | 0             | 0             | 0             |
| <b>グループ</b> |    | <b>8,788</b> | <b>26,239</b> | <b>30,415</b> | <b>29,537</b> |

※ 佐賀事業所内の排水処理施設

集計範囲

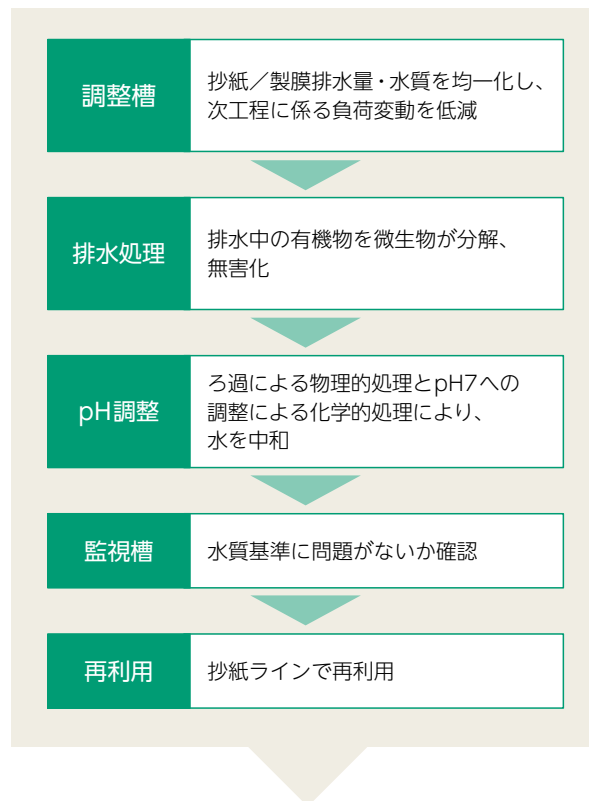
\* 2019年度: 横浜開発センタ、横須賀メディアラボ、佐賀事業所

\* 2020年度: 横浜開発センタ、横須賀メディアラボ、佐賀事業所、蘇州研究所、セブ工場

\* 2021年度: 横浜開発センタ、横須賀メディアラボ、佐賀事業所、蘇州研究所、セブ工場、ベトナム工場

\* 2022年度: 横須賀イノベーションセンタ、佐賀事業所、(株)アクシー、蘇州研究所、セブ工場、ベトナム工場

### ● 佐賀工場の排水処理のフロー



水リサイクル率 **100%** 達成

### ■ 水リスク評価

当社は、生産拠点での水供給や洪水等のさまざまな水リスクを把握し、適切に対応するため、水リスク評価を実施しました。グローバル基準のツールである世界資源研究所(WRI)の「Aqueduct」を用い、国内外全4拠点で一次評価を行いました。2023年度中には、これらのツールはあくまでも参考値として、より正確な水リスク評価をするべく二次評価(ハザードマップ等の確認)やヒアリングを含めた第二次リスク評価を実施する予定です。

### ● WRI Aqueduct 評価結果

| 生産拠点    | 水ストレス度     |
|---------|------------|
| 佐賀事業所   | 低い(1-2)    |
| (株)アクシー | 低い(1-2)    |
| セブ工場    | 非常に高い(4-5) |
| ベトナム工場  | 非常に高い(4-5) |

\*水ストレス度: 非常に低い(0-1)、低い(1-2)、中(2-3)、高い(3-4)、非常に高い(4-5)の5段階

## ● 廃棄物削減への取り組み

### ■ 自社での取り組み

生産や営業現場では廃棄物の分別等、個別項目についての環境目標を設定し、日々の業務で環境負荷低減に取り組んでおり、新たに以下の中長期目標を策定しました。

- 2032年度までに、グループの廃棄物排出量を2022年度比で20%減
- 国内のリサイクル率95%以上

2022年度の海外生産拠点を含めたグループ全体での原材料投入量が5,572t、外部への廃棄物排出量は795t、国内でのリサイクル率は97.1%でした。

### ● 主な原材料投入量 (単位：t)

| 原材料       | 2021年度 | 2022年度 |
|-----------|--------|--------|
| アルミニウム    | 1,456  | 1,022  |
| 鋼材        | 2,920  | 2,205  |
| ステンレス     | 288    | 259    |
| 合成繊維      | 539    | 335    |
| 段ボール、紙加工品 | 435    | 394    |
| その他       | 2,272  | 1,357  |
| 合計        | 7,910  | 5,572  |

### ● 廃棄物排出量および有害廃棄物量 (単位：t)

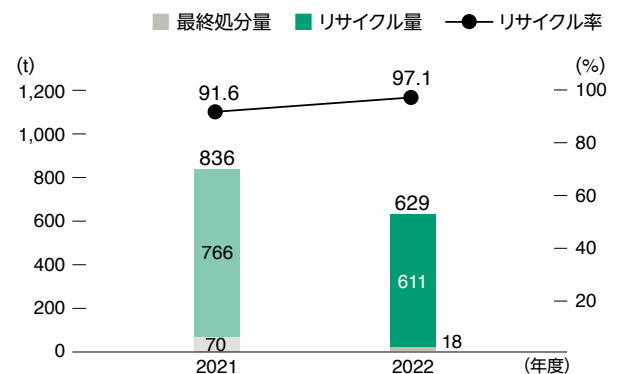
| 分類       | 範囲 | 2021年度 | 2022年度 |
|----------|----|--------|--------|
| 汚泥       | 国内 | 132.8  | 127.3  |
|          | 海外 | 31.5   | 0      |
| 廃油       | 国内 | 60.5   | 26.6   |
|          | 海外 | 21.5   | 47.0   |
| 金属くず     | 国内 | 125.8  | 97.8   |
|          | 海外 | 0      | 2.8    |
| 廃プラスチック  | 国内 | 474.1  | 339.0  |
|          | 海外 | 0      | 0.6    |
| その他      | 国内 | 84.2   | 82.5   |
|          | 海外 | 39.8   | 71.5   |
| グループ     |    | 970    | 795    |
| うち、有害廃棄物 |    | 142    | 131    |

集計範囲

\*2021年度：横浜開発センタ、横須賀イノベーションセンタ、佐賀事業所、(株)アクシー、蘇州研究所、セブ工場

\*2022年度：横須賀イノベーションセンタ、佐賀事業所、(株)アクシー、蘇州研究所、セブ工場、ベトナム工場

### ● 最終処分量／リサイクル量・率(国内)



## ● 有害化学物質・廃棄物管理の取り組み

当社では化学物質の適切な管理のため、安全データシート (Safety Data Sheet : SDS) や作業手順書などを通じて、化学物質の廃棄も含めた取り扱い方法や保護具の重要性について周知をしています。各工場には化学物質の管理者を配置し、有害廃棄物量などのデータ管理を徹底することで、適正な管理および処理に努めています。

## ● 製品を通じた貢献

当社は、製品のライフサイクル分析を行った上で、原材料選定から廃棄までの環境配慮を考慮した製品開発を行っており、長寿命化を実現したロングライフフィルタ、CO<sub>2</sub>排出量がより少ないエアフィルタ製品や繰り返し使用が可能な高性能マスクを販売しています (P.20参照)。当社の環境配慮製品によって省エネ・省資源に貢献するとともに、ナノファイバーを用いた製品のリサイクルシステムの構築を目指し、引き続き検討していきます。